

市の素案に対する意見（環境・都市機能分科会）

：素案に対する修正案（下線部は主要な修正部分及びキーワード），：素案に対する分科会での主な意見

項 目		意見内容	委員の具体的意見	
素案全体		計画全体に通じる「望ましい街の姿」がイメージできるようなストーリー性を充実すべき 各主体の主な役割については、より記述の具体性を増すなど、各主体が役割を実感できるような工夫がすべき	4分科会全体を通した「望ましい街の姿」がイメージできる内容（景観、安全・安心、観光等）を記述すべき（中井副会長） これからの取り組みは協働で進めていくことから、施策ごとに各主体の協働の役割を整理したほうがいい（別紙1参照、大坂委員） 市民が、自分たちが参加できていると思えるかどうかは、具体性が重要。いろんなパートで可能性があると思えたときに自発性がでてる（中井副会長）	
望ましいまちの姿		誰でも安心・安全に暮らせるという視点を盛り込むべき 美しい都市景観についての視点を盛り込むべき 地球環境問題については、市民一人ひとりが自発的に取り組み、生活文化まで浸透するように記述を充実すべき	北国らしい明瞭な四季があり、美しくゆとりある景観にあふれた街です。ゆたかな自然環境と共生し、健康で安心・安全に暮らすことができます。エネルギーを有効に利用し、公共交通の利便性に優れた、持続可能でコンパクトな街で、誰もが大都市ならではの快適な生活を送ることができます。 <u>市民一人一人が、ごみの発生抑制や地球温暖化防止、環境汚染防止などの環境保全活動に積極的・自発的に取り組み、実践し、環境に恵まれたゆたかな札幌をともに築きあげ、将来の世代に継承していこうという意欲にあふれています。</u> （以上3項目 太田委員） 多雪寒冷な気候風土と北国らしい明瞭な四季を通じて、緑や水辺の変化にとんだ豊かな自然環境を身近に楽しむことができる、美しい都市景観の街で暮らしています。 都市機能がコンパクトに集積し、エネルギー負荷の少ない市街地には、快適で便利な公共交通機関の利用が望まれ、魅力ある街並景観の中心市街地では、楽しく歩ける歩行者空間と人と車が共存する交通関係が保たれています。 将来にわたり持続可能な都市環境を継承するために、市民ひとりひとりが環境負荷の少ないエネルギー利用と省エネ化を図り、ゴミの減量化と資源リサイクルに努めながら、快適に暮らして行ける生活文化が定着しています。（以上3項目 中井副会長）	
重点戦略課題	水とみどりのうるおいと安らぎのある街の実現	水とみどりを生かした美しい都市景観にしていく視点を盛り込むべき 自然環境には生き物も含まれていることが判るように記述を充実すべき 豊かな自然環境と美しいまちに市民が愛着心をもって住み続けられるような視点で記述を充実すべき 市民が、自然と親しみ学習したり、自然と接するマナーを学んでいくことが重要	重点戦略課題の名称	水とみどりにあふれたうるおいと安らぎのある街の実現（太田委員） 水と緑と生き物に安らぎのある豊かな自然環境の育成（中井副会長）
			(仮称)戦略目標	美しくゆとりある景観にあふれた街で、ゆたかな森林環境や健全な水環境と共生した、うるおいとやすらぎのある生活をおくることができます。（太田委員） 緑や水辺が守り育てられ、動植物と身近にふれあうことのできる豊かな自然環境の街さっぽろは、安らぎとうるおいを人々にもたらし、いつもまでも住み続けたい安心して暮らせる都市です。（中井副会長）
			各主体の主な役割	以下の主な役割（中井副会長） 〔市民〕 ・庭や宅地まわり、居住環境など身近な場所の草花による緑化 ・水や緑などを、守り育てる地域活動への参加 〔企業等〕 ・企業の所有地や敷地まわりの花や緑の保全と緑化 ・水や緑に関する地域活動への積極的参加 〔NPO等〕 ・水や緑、生き物の保全・育成・創出の活動 ・札幌の水と緑、自然生態系に関する情報収集と調査研究および提言など ・水や緑、生き物の保全・育成・創出に関する活動と情報のネットワークを形成 〔行政〕 ・公共施設における水と緑の保全・育成・創出 ・札幌の水と緑、自然生態系等に関する情報収集と調査研究等に対する支援体制 ・札幌の自然環境に関する情報収集とわかりやすい情報発信 ・水と緑など自然環境に親しむ学習やマナーを学ぶ機会の充実
			施策の基本方針	札幌の良好な緑や水環境の維持・回復をはかる 水辺の緑や生き物などの自然を保全・復元し、せせらぎの回復をはかる 水や緑、生き物など身近な自然と人間がふれあい親しむ関係のあり方を市民が学ぶ（以上3項目 中井副会長）
			施策	美しくゆとりある景観の実現（太田委員 1項目追加）

項 目		意見内容	委員の具体的意見	
	地球環境問題への対応と循環型社会の構築	地球環境問題については、市民一人ひとりが自発的に取り組み、生活文化まで浸透するように記述を充実すべき（再）	重点戦略課題の名称	持続可能な都市環境の構築と資源循環型社会の実現（中井副会長）
			(仮称)戦略目標	<u>市民一人ひとりが地球環境問題を正しく理解して、ごみの発生抑制や地球温暖化防止、環境汚染防止などの環境保全活動に積極的・自発的に取り組み、実践し、環境に恵まれたゆたかな札幌を共に築き上げ、将来世代に継承していこうという意欲にあふれています。</u> （太田委員）
重点戦略課題	ゆたかな冬の暮らしの実現	冬でも安心・安全に暮らす視点を盛り込むべき 「冬」や「雪」だけでなく、1年を通じて快適で楽しめる北の暮らしが、文化として定着するような視点が必要 多雪・寒冷な気候特性においても、省エネルギーに配慮することが重要	重点戦略課題の名称	<u>安心・安全な冬の暮らし・活動の実現</u> （大坂委員） <u>ゆたかで安心・快適な冬の暮らしの実現</u> （太田委員） <u>ゆたかな北のライフスタイルと暮らしの文化の創出</u> （中井副会長）
			(仮称)戦略目標	多雪寒冷の厳しい気候に対応した、 <u>省エネルギー型の安全で快適な街</u> です。厳しい冬でも遊びやスポーツ、雪まつりなどのイベントを気軽に楽しむことができる、個性的で魅力あふれる北方の拠点都市です。（太田委員） <u>さわやかで快適な夏がある一方で、多雪寒冷の厳しい冬期間の生活がある札幌の街では、雪や寒さに強い都市づくりを進めながらも、北国ならではの冬の魅力を楽しむ暮らしの文化やまちづくりなど、北方の拠点都市として形成が望まれています。</u> （中井副会長）
			現状と課題	四季が明瞭で、 <u>自然や生活文化が一年を通して多様に展開する緑の季節と雪の季節の快適な都市環境のあり方を検討する必要がある</u> （中井副会長 2項目追加）
			各主体の主な役割	以下の主な役割（中井副会長） 〔市民〕 ・冬期間の雪対策のルールを理解し、遵守する ・ <u>北国ならではのライフスタイルや生活文化の育成</u> ・冬の遊びやスポーツ、イベントなど冬を楽しむ機会と実践 〔企業等〕 ・協働による雪対策への参加と支援 ・雪と寒さへ配慮した北国ならではの技術や製品の開発 ・北国にふさわしい <u>デザイン文化</u> の発信 〔町内会・NPO等〕 ・地域の協働による雪対策への参加と推進 ・地域による冬の遊びやスポーツ、イベント等の企画と実践 ・ <u>四季を通して楽しみ活動できる暮らしの文化の育成</u> 〔行政〕 ・効果的・効率的な雪対策の開発と推進 ・多雪寒冷の気候を活かした自然エネルギーの活用 ・ <u>明瞭な自然の変化と季節感のある北国の札幌の街は、魅力ある都市景観の形成が貴重な観光資源となる</u> ・冬の遊びやスポーツ、イベント活動の創出と支援
			施策の基本方針	雪に親しみ楽しむ機会を大切にし、 <u>一年を通して市民が快適に生活できる、北国の暮らしの文化を創出する。</u> （中井副会長 1項目修正）
			施策	<北国らしい暮らしの創造> <u>緑の季節と雪の季節のいずれも快適に生活できる北の暮らしの文化の創造</u> 北方圏の都市との国際交流を通じて、 <u>北国の暮らしの文化に係わる技術や情報の交流と共有</u> 冬期間の公園利用や冬の遊びを促進する市民活動の支援と、指導者の活用や育成（以上3項目 中井副会長）

項 目		意 見 内 容	委 員 の 具 体 的 意 見	
重 点 戦 略 課 題	歩いて暮らせる ゆたかで快適な 街の創造	歩いて楽しめる魅力的な美しい都市 景観の形成に関する視点を盛り込 むべき 誰でも安心・安全に暮らせるという 視点を盛り込むべき(再) 自転車の走行環境や自転車利用の マナー教育の充実が重要	重点戦略化題の名称	歩いて暮らせる快適で魅力ある美しい都市景観の形成(中井副会長) 歩いて暮らせる快適な街の創造(大坂委員) 歩いて暮らせる快適でゆとりのある美しい街の創造(太田委員)
			(仮称)戦略課題	<u>エネルギーを有効に利用し</u> 、公共交通の利便性に優れた、持続可能なコンパクトな街です。都心や地域中心部では、 <u>徒歩や自転車で安心・安全・快適に生活することができる</u> 、美しくゆとりのある景観にあふれた街です。(太田委員)
			現状と課題	<u>歩いて楽しい魅力ある街並景観の形成</u> <u>街なかの放置自転車や違法駐輪などへの対策</u> (中井副会長 以上2項目追加)
			各主体の主な役割	以下の主な役割(中井副会長) 〔市 民〕(2項目追加) ・ <u>市民参加による花や緑の街並み景観の魅力づくり</u> ・ <u>自転車走行や駐輪場利用のマナーを守る</u> 〔企業等〕(変更なし) 〔NPO等〕(1項目追加) ・歩いて楽しい街路空間づくりへの参加・実践 〔行 政〕 ・交通事業者への支援(素案から変更なし) ・都市再生を先導する基幹的な都市基盤整備(素案から変更なし) ・公共交通機関や道路空間のバリアフリー化を促進する ・ <u>歩いて楽しい魅力ある街並景観の整備</u> ・ <u>安心して走行できるサイクリングロードの整備</u> ・ <u>自転車走行や駐輪場利用のマナー教育</u>
			施策の基本方針	<u>歩いて楽しい魅力ある街並景観の形成</u> (中井副会長 1項目追加)
成 果 指 標	成果指標の選定にあたっては、協働 で取り組む市民にわかりやすく、か つ、達成することによってまちが良 くなるという視点が必要 現在、改定作業が進められている環 境基本計画で検討している指標と の整合性にも配慮すべき。特に地 球温暖化対策、環境低負荷型の交通 対策や、環境保全に寄与する企業活 動などの分野において指標の充実 を図るべき その他、自然環境や雪対策、都市景 観に関する指標についても充実を 図るべき	成果指標案(大坂委員・太田委員・中井副会長)(別紙2参照) 去年より今年、今年より来年というように、成果が上がっているかどうかを市民にわかりやすいかたちでチェックすべき(小林会長) 成果指標の項目は、将来に向けてのまちづくりの課題を実現していくときに、プラスに働く項目でないといけない(中井副会長) 市民一人ひとりがまちを良くするために貢献できるようなリアリティを持てる目標がいい(大坂委員) 環境基本計画改定において環境審議会で検討している「環境指標」のうち、適切な指標があればいくつか取り入れるべき(太田委員) 市民から見ても指標になるような除排雪に関する項目が一つあればいい(太田委員)		